

行政学的アプローチに基づく地方自治体の政策分析

担当者氏名：茂木 康俊

(研究室番号：Q5009)

1. プロジェクト研究テーマの設定理由と内容

我が国の行政学には、制度学、管理学、政策学という三つの大きな視点があるとしばしば論じられています。学界においてはさまざまなアプローチがとられていますが、行政の制度や政策について、これまでの行政学の研究の蓄積を踏まえて、実証的・理論的に検討することが重要であると考えています。私自身は公共組織の意思決定やそれと関連してプログラム評価の方法について関心をもって研究を進めてきました。本プロジェクト研究では、行政学の研究方法に基づき、ご自身の問題意識を大事にしつつ、学問としての行政学の中のどこかに位置づけられる政策課題について研究を進めてもらいたいと思います。

行政学は前述の制度、管理、政策という三つの視点を重視しつつ、近隣分野の方法と内容に大きな影響を受けてきた学際的な学問領域です。内容面では、国家行政、地方行政、行政理論に分かれると言われますが、受講生の研究テーマは、今年度については地方行政、すなわち地方自治体の政策を対象にすることにいたしたいと思います。交通、福祉・医療、財政、環境衛生など個別政策領域を選択し、特定の地方自治体を研究対象として研究を進めてもらおうと考えています。

2. プロジェクト研究の進め方

3 年次春学期：政策リサーチの基礎的方法の習得

3 年次秋学期：卒論テーマの決定と関連文献の収集・先行研究の検討

4 年次春学期：二次データ/一次データの収集、分析

4 年次秋学期：卒論執筆

3. プロジェクト研究のための前提科目および関連科目

原則として3年次Q2に開講される総合演習B(担当：茂木)を履修すること(短期留学のため履修が難しい場合は相談すること)。コースはいずれでもかまわない。ただし、下記科目の事前履修や同時履修をおすすめします。

「行政学」「公共政策論」「地方自治論」「現代国家論」

4. プロジェクト研究開始までの準備

行政に関する新聞記事やニュースについて関心を持ち、余裕があれば、指定教科書に事前に目を通してもらいたい。

5. その他

卒論は日本語で執筆していただきます。執筆形式については、アメリカ心理学会の APA 形式によることとします（参照、前田樹海・江藤裕之訳（2023）『APA 論文作成マニュアル [第 3 版]』医学書院）。二年間を通じて、次に挙げるような教科書を各学期で使用します（シラバスで明記）。必ず購入し、各学期の指定の教科書を持参するようにして下さい。

[3 年次の教科書の予定（購入必須）]

伊藤修一郎 『政策リサーチ入門[増補版]』東京大学出版会、2022 年。

新藤宗幸 『概説 日本の公共政策[第 2 版]』東京大学出版会、2020 年。

6. 選考方法

志望理由書と面接による。プロジェクト・アワーに参加していることを選考の前提条件とします。